

# 北海道浮魚ニュース

平成 12 ( 2000 ) 年度 9 号 ( 通巻 No.79 )

2000 年 7 月 31 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7177
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## 日本海スルメイカ長期漁況予報発表される。

今年の日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたのでお知らせします。

なお、この予報は日本海区水産研究所を中心にして日本海側道府県水試が共同で行った日本海スルメイカ漁場一斉調査の結果に基づいています。

### 平成 12 年度 日本海スルメイカ長期漁況予報

対象期間：平成 12 年 8 月～12 月

対象海域：日本海

6 月下旬から 7 月中旬に日本海で実施された漁場一斉調査の結果、スルメイカの分布密度を示す CPUE<sup>注)</sup>の全調査点の平均は 23.01 個体であった。この値は昨年の値 ( 18.46 個体 ) の 125%、過去 5 年間の平均値 ( 15.85 個体 ) の 145% であり、近年で最も高い値であった。よって今期 ( 8 ~ 12 月 ) の日本海においては好漁が期待できる模様。

漁期と漁場は、8 ~ 9 月は大和堆付近、9 月以降は道北から大和堆にかけての海域を中心に形成されると考えられ、11 ~ 12 月まで好漁が持続する見込み。しかし佐渡北方礁付近から道央の沿岸域にかけては分布密度も低く、魚体も小さかったことから、これらの海域では漁期の前半を中心に漁模様は低調になることが予想される。

なお、魚体の大きさは、沖合域では昨年と比較して大型の個体が多くなるが、沿岸では小型の個体が多くなると考えられる。

注) CPUE : 自動イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数

( 文責 : 中央水試 資源管理部 )